

2020年12月10日

三菱ケミカルアクア・ソリューションズの膜ろ過実証事業が UNIDO の支援事業に採択三菱ケミカル株式会社
三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「MCC」）のグループ会社、三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、社長：柳川 秀人、以下「MCAS」）は、ミャンマーにおける膜ろ過浄水装置を利用した分散型給水システムの実証事業が、国際連合工業開発機関（以下「UNIDO」）が実施する「開発途上国の感染症予防に向けた STePP*技術の実証・移転による海外日本企業支援事業」に採択されたことをお知らせいたします。

UNIDO では、開発途上国の新型コロナウイルス感染症をはじめとした様々な感染症対策に役立つ技術を保有する日本企業が、健康・衛生環境の向上を目的とした技術の普及に取り組むことを支援しています。新型コロナウイルス等の感染症予防と保健・衛生環境の向上には、安全で清潔な水の安定供給が不可欠ですが、ミャンマーではそれに必要な水インフラが十分に整っていません。MCAS はこうした課題の解決に向けて、ミャンマーの都市部において、特に感染症予防の観点から重要度の高い病院に膜ろ過浄水装置を導入し、現地パートナー（MCC のグループ会社である MW Aqua Solutions Co., Ltd. および伊藤忠商事株式会社ヤンゴン事務所）とも連携しながら、分散型給水システムの実証を行ってまいります。

今回ミャンマーに導入する膜ろ過浄水装置は、水源（井戸水、市水、河川水）を問わず浄水処理ができ、適切な技術を組み合わせることで世界保健機関の飲料水質基準を満たす水を供給することができます。当該装置はユニット化されているため施工期間が短く設置が容易で、無人運転が可能なことから現地での運用に適しています。さらに、装置に遠隔監視システムを搭載することで、日本からも装置稼働状況や水質等の各種データ、異常値をリアルタイムに把握することができ、トラブル発生時などのメンテナンス対応を両国で迅速に行えるよう運用体制を整えます。

MCAS は今後も、UNIDO をはじめとする国際機関等と協力し、安全で清潔な水を安定して供給できるソリューションをグローバルに提供してまいります。

※サステナブル技術普及プラットフォーム（STePP）は、UNIDO 東京投資・技術移転促進事務所が運営するエネルギー・環境・保健衛生・アグリビジネスの関連技術普及を目的としたオンライン・プラットフォームです。

【ご参考】本件に関する UNIDO のプレスリリース

<http://www.unido.or.jp/news/9579/>

以上

お問合せ先 株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室 TEL 03-6748-7140 三菱ケミカルアクア・ソリューションズ株式会社 海外事業推進室 TEL 03-6748-7541
